

**製品名: メチオニンアミノペプチダーゼ 2 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe84402**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.71mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100
分子量	Calculated MW: 53 kDa ; Observed MW: 67 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Methionine Aminopeptidase 2
別名	Amp2; MAP2; Metap2; MNPEP; p67; p67eIF2;;METAP2
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P50579
免疫原	ヒト METAP2 由来の合成ペプチド

**背景**

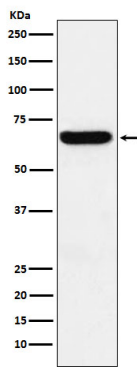
新生タンパク質から N 末端メチオニンを共翻訳的に除去する。N 末端メチオニンは、一次配列の 2 番目の残基が小さく、かつ荷電し

ていない (Met-Ala-, Cys, Gly, Pro, Ser, Thr, または Val) 場合に切断されることが多い。ヒト METAP2 の Met-Val ペプチドに対する触媒活性は、METAP1 よりも一貫して 2 桁高く、生体内で N 末端 Met-Val および Met-Thr 配列を含むタンパク質の処理を担っていることを示唆している。

## 研究分野

-

## 画像データ



HeLa 細胞溶解物中のメチオニンアミノペプチダーゼ 2 発現のウェスタン ブロット分析。

すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。

